

金井中だより

令和4年9月13日

第5号

校長 仙北屋正樹

金曜日の 言い方	英語	Friday (フライデー)	秋の言い方	Autumn (オータム)
	スペイン語	Viernes (ビエルネス)		Otono (オトニョ・オトニョ)

楽しい行事がある二学期がスタート！

夏休みが終わり、いよいよ二学期がスタートしました。コロナ感染症も、夏休み前は感染者が増加しましたが、今は少しずつ減少しつつあります。このまま減り続けてくれれば、様々な行事はできそうです。この二学期は、1年生が校外学習、2年生は英語国内留学、3年生は修学旅行が待っています。みなさんにとっては、中学校生活で一番思い出に残る行事がたくさんあります。そして、合唱コンクールも控えていますよ。とにかく健康に気をつけてがんばりましょう。



私たちが楽しい行事を控えているのに、そのようなことを考えられない人々があります。ウクライナとロシアの戦いが始まってから、先日半年が過ぎたそうです。いったいどれだけの人がなくなったのでしょうか。日本もかつては同じ状態の時がありました。その時は、ペットまで殺され防寒着にされてしまいました。その話を始業式に話したことを覚えていると思います。その話を詳しく伝えます。「キャンキャンと鳴いていたチェリーの声が、今も耳に残ってますね」。岡山市在住の小高よしこさんが、1944年に飼っていた柴犬のチェリーを供出した悲しみを切々と語ってくれました。当時は十才。暮らしていた地域の町内会長さんが自宅を訪ねてきて、供出を求められました。父親から「チェリーは北の国の兵隊さんの防寒着になるんだよ」と伝えられ、「じゃあ殺されるの」と言っていて号泣したそうです。供出の日、チェリーは何かを感じたのか、家の門からなかなか出ず、母親が抱いて外に出したそうです。小高さんは母親と一緒に当時の県庁へチェリーを連れていき、別れた後は二人で泣きながら帰り、お線香をあげたそうです。ペットを飼っている家庭はたくさんあると思います。みなさんは差し出すことができますか？無理ですよ。このようなことを強制されるのが戦争です。これから始まる二学期、みなさんは毎日が平凡な日常の中で、楽しい行事ができる幸せを感じて過ごしていきましょう。

吹奏楽部が「銅賞」を獲得しました！

一学期でだいたいの部活動では、3年生が引退して夏休みは受験勉強に向かっていたのではないのでしょうか。以前学校の学校便りでもお知らせした通り、3年生は様々な部活動で活躍して、素晴らしい成績を収めてくれました。コロナ環境で練習日を縮小したり、マスクをつけながらの練習で大変だったと思います。でも、その中で一番大変だったのは、吹奏楽部だと思います。どうしても楽器の演奏で吹くことの多い部活ですから、コロナ防止のためにか



なり制限を受けてきました。その中でも、心を一つにしてコンクールに向けて頑張ってくれていました。コンクールは夏休み中のため、受験勉強にも影響があったかもしれませんが、それでも、毎日練習に励んでいました。夏休みに入ってすぐに、町田市中学校連合音楽会が開かれ、そこで演奏が披露されました。他の学校に見劣りすることなく、立派な演奏をしてくれました。そしていよいよコンクール本番。連合音楽会よりも素晴らしい音色で演奏を聴かせてくれました。見事「銅賞」をもらい、田中端稀さんは部長としての功績が認められ表彰状をいただきました。ただ、これで終わりではなく、9月17日(土)の金井八幡神社の例大祭でも午後3時30分からの演奏があります。どうぞみなさんも聴きにいて下さい。

桜美林大と生徒会が環境問題でコラボ！

今年夏の温暖化問題は、地球温暖化の深刻な問題です。プラスチックごみの問題は、環境問題として注目を浴びています。桜美林大学と生徒会が、環境問題に取り組むために、プラスチックごみの回収活動を行いました。この活動は、環境問題に対する意識を高め、プラスチックごみの削減に貢献することを目的としています。生徒会と大学の協力で、回収活動がスムーズに進められました。回収されたごみは、適切に処理され、環境にやさしい方法で再利用されます。この活動を通じて、環境問題に対する関心が高まり、持続可能な社会の実現に貢献することが期待されます。



この回収活動は、環境問題に対する意識を高め、プラスチックごみの削減に貢献することを目的としています。生徒会と大学の協力で、回収活動がスムーズに進められました。回収されたごみは、適切に処理され、環境にやさしい方法で再利用されます。この活動を通じて、環境問題に対する関心が高まり、持続可能な社会の実現に貢献することが期待されます。

聴覚障がいの方と座談会をしました。

8月20日（土）に、町田市民フォーラムでNHKドラマ「しずかちゃん」と「パパ」の制作に関する講演があり参加してきました。このイベントは、町田市が「聴覚障がい」というテーマで開かれたもので、町田市より金井中から生徒さんに参加してもらい、座談会を行いました。今回は1年生にお願いして希望者6人に協力してもらいました。



このイベントは、聴覚障がいの方と交流する機会を提供する目的で開催されました。座談会では、聴覚障がいの方の生活や学習に関する悩みや経験について話し合いました。また、手話の重要性や、聴覚障がいの方と上手にコミュニケーションをとる方法についても学びました。今回の座談会を通じて、聴覚障がいの方への理解が深まり、互いに支え合える環境づくりが大切であることが学びました。

卒業生の小林美月さんインターハイ優勝！

夏休み中に素晴らしいニュースが飛び込んできました。8月6日に徳島県の鳴門ポカリスエットスタジアムで開かれた全国高校総体（インターハイ）で、本校出身の小林美月さん（東京・明星学園）が陸上棒高跳びで4mを跳び、見事優勝しました。そして、4mという記録は、大会タイ記録という快挙です。小林さんは、金井中の時も陸上部に所属し、活躍していた生徒でした。棒高跳びは中学の時から行っており、毎日の地道な努力がこの結果を生んだのだと思います。在校生のみならず、小林さんを見習って努力を続けましょう。

